

中播磨地域ビジョン情報誌

は り ま が 2021.2 HariMaga Vol.23



発行：中播磨地域ビジョン委員会



フードイベント（シェフたちのオーケストラ）での舞台発表（令和2年11月29日）

Contents

- 令和2年度第1回総会を開催…………… P 2
- 新役員からのメッセージ…………… P 2
- 各部会・グループ紹介…………… P 3～5
- 中播磨地域力指標…………… P 6
- Facebookページの紹介…………… P 6



網干まちあるき（令和2年10月27日）



第10期 中播磨地域ビジョン委員会スタート

令和2年度第1回総会を開催しました

7月18日(土)に姫路商工会議所大ホールにて、中播磨地域ビジョン委員会第1回総会を開催しました。小橋中播磨県民センター長による開会挨拶で始まり、続いて金澤副知事による「兵庫から新たな未来を創る」と題した講演。講演後の意見交換会では、委員から次々と質問が飛び交い、とても活発な議論の場となりました。

第10期委員会活動の説明等に引き続き、役員選出が行われ、委員長には藤本忠義委員(第9期から継続)が、副委員長には西尾章子委員(第9期から継続)と浦上健作委員(新任)が選出されました。藤本委員長は「3か月スタートが遅れたが、皆で効率化を図り、楽しくグループ活動を行いながら、2年後にはしっかり成果をまとめたい」と抱負を語り、会場から大きな拍手が起こりました。

全体会終了後の部会別会議では、「希望が育つ中播磨」「安全安心中播磨」「自然豊かな中播磨」「元気交流中播磨」の実現に向け、6つの実践活動グループに分かれて今後の活動について意見交換を行いました。



全体会



実践活動グループ

新役員からのメッセージ



藤本 委員長

第9期に引き続き、委員長を務めさせていただくことになりました。第9期の終盤からのコロナ禍中に、兵庫県と中播磨地域の2050年を展望する新ビジョンの策定も始まり、気忙しい第10期となりそうです。

コロナ禍は、未だ収束の兆しも見えない状況ですが、ウィズコロナ、ポストコロナを皆様と模索し、明るい中播磨地域を目指したいと思っています。アドバイザー、専門委員をはじめ、多方面でご活躍されているビジョン委員、事務局の皆様よろしくお願いたします。



西尾 副委員長

2期目の副委員長を務めさせていただく西尾章子です。私はビジョン委員になった当初より、元気交流中播磨部会の食と交流グループに参加しており、中播磨の美味しいものを発掘し、外部へ発信していく活動をしています。コロナ禍の中で発信に制限がかかっていますが、力と知恵を合わせビジョン委員の皆様と共に乗り切って、活動を楽しみたいと思います。よろしくお願いたします。



浦上 副委員長

元気交流中播磨部会 銀の馬車道活性化グループで、2期目の活動になります神河町の浦上です。

今期は副委員長の大役を仰せつかり、大変身の引き締まる思いですが、生まれ育った中播磨地域への恩返しができる喜びを感じております。コロナ禍という非常時ではありますが、創意工夫により新しいチャレンジも始まっています。『ピンチをチャンスに!』の心意気で務めさせていただきますので、一緒に中播磨地域を盛り上げていきましょう!

希望が育つ中播磨部会



リーダー
西田 輝彦

挨拶

第8期から3期続けて希望が育つ中播磨部会で活動させていただいています。

普段から児童虐待防止の活動をしていた事もあり、この部会に入らせていただきました。「子どもの夢、楽しめる事ってなんだろう?」「何が自分達に出来るだろう?」から始まり、姫路市立動物園でのクリスマスイベント等継続していけるものを皆で模索しながらやってきました。

今年度は、コロナによる三密回避で、今までとは違う形でのイベント等を新しい第10期のメンバーと作りあげていこうと思っています。手探りしながら皆で進みますので宜しくお願いします。

活動趣旨・目的

子ども達が夢を持てる魅力あるまちにしていくため、イベント等を企画、実行していきながら多方面の違う角度からの意見を貰って勉強会やアンケート調査を行い、分析してまちの賑わいづくりに欠かせない子ども達の人的定着に何が必要なのかを立証していく。

今後の活動計画

【子どものゆめワクワク発表会】を姫路市立動物園で行えるよう企画しています。

コロナで自粛の中、発表したい事が出来なかった子ども達に少数ではありますが、動物園のステージでなんでも好きな事を発表してもらう予定です。



安全安心中播磨部会



リーダー
東滝 弘子

挨拶

第9期に引き続き安全安心中播磨部会のリーダーを務めさせていただきます東滝です。

中播磨地域の方と共に「自分の地域は自分たちで守ろう」をスローガンにビジョン委員ならではのユニークなアイデアを盛り込みながら2年間活動ができればと意気込んでおります。リーダーの役割として、委員の皆さんにやりがいや充実感を感じて活動してもらえよう、一人ひとりの意見を尊重し、活動に結びつけたいと思っております。そして、ビジョン委員の活動を多くの方に知ってもらい、次期には一緒に活動をしてくれる仲間づくりにも尽力しますので、よろしく願いいたします。

活動趣旨・目的

第9期の活動を引き継ぐ形で「防災の知識」を深め、学んだことを地域の防災訓練などの活動を通じてお返しをしていく「地域貢献」、この2本柱で活動を展開する。

中播磨地域の防災力UPや自然災害の備えに関心を持ってもらえるように、工夫された防災啓発活動を推進する。

今後の活動計画

- 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第9期で好評だった防災運動会の実施が難しく、自分たちの防災知識を深めることに注力。
- 姫路市危機管理室の防災講座を受講。
- AEDを活用した応急手当講座を受講。
- 東日本復興イベント「ハートフルフェスティバル」にて、防災啓発「防災マスク」「防災スリッパ」のワークショップを開催予定。



自然豊かな中播磨部会



リーダー
奥 久雄

挨拶

このグループのメンバーは、私を含め、ほとんどが新任のビジョン委員です。そのため、今後どのようにして活動を進めていくか、手探りな状況ではありますが、メンバーの力を借りながら、任期の2年間で、何かしら形に残るような活動ができればと考えています。

自然といってもテーマが幅広いため、まずはメンバー全員で中播磨地域の自然について学ぶことで、何が課題になっているのか等、共通の認識を持つことから始めたいと思います。

至らぬ点もあるかと思いますが、リーダーとして、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

活動趣旨・目的

自然環境の営みを大切にす地域をつくるため、勉強会や現地見学等を行うことで知識を深め、それらを通じて発見したことを、中播磨を中心とした地域に発信・還元する。

今後の活動計画

- 勉強会等を実施し、グループメンバーの知識を深め、今後の取り組む活動テーマや内容を定める。
- 活動テーマや内容をどのようにして地域に発信・還元していくか議論し、実際に取り組むことでグループの成果とする。



元気交流中播磨部会 (歴史文化グループ)



リーダー
苗村 克三

挨拶

私は、第9期からビジョン委員会に参加し、中播磨地域の豊かな歴史文化を学ばせていただいています。過去からの活動の継続性を保ちながらも、新たな視点で中播磨地域の歴史文化について、魅力を発掘し、情報発信をしていきたいと思っています。メンバーは、多方面で活躍しておられる方が多く、それぞれのメンバーとの交流を深めながら、明るく元気に楽しく活動を進めていきます。

活動趣旨・目的

中播磨の歴史ある地域資源や、祭りなどの伝統的な文化を掘り起こすと共に、個性あふれる魅力を発信していく活動を進めていきます。

今後の活動計画

- 網干地区のまちあるきを行い、リソースの連携と見える化を推進できる活動を模索する。
- 城跡調査を行い、現地視察・研究を行う。
- 魚吹八幡神社の祭典見学を行い、活動の方向性を検討する。
- 市川・夢前川・揖保川の流域文化について、観光目線で今後の活動を検討する。



日本玩具博物館見学

元気交流中播磨部会 (銀の馬車道活性化グループ)



リーダー
三宅 智章

挨拶

今期から初めてビジョン委員に就任し、ビジョン委員会についても、「銀の馬車道」についても、知識や経験のないスタートでした。当初は多くの所属メンバーに恵まれましたが、コロナによる活動制限もあり、芳しい活動実態も現せず、各位に様々我慢・御心配を重ねさせております。それでも、熱意に溢れ、毎回辛抱強くご出席を重ねていただくメンバーとビジョン担当の県職員の方々に背中を押されながら、まずは自身が過程と目標を確立し、幅広く共有しながら脈々と過去から未来へ繋がるバトンを落とさないよう任期を務めてまいります。

活動趣旨・目的

「点から線」、「線から面」へと持続性を持った発展を目指し、「銀の馬車道」の沿道各地の星が個別に輝くだけでなく、星座の様に手を繋ぎ全体で形成する「大きな形」が、瞬き続ける地域資源の活性化に取り組む。

今後の活動計画

- 沿道全体を俯瞰する全線体験型活動
- 起点の銀鉱石からの視点だけではなく、中播磨から見る当時の物流・交流の波紋の痕跡にも焦点を当て、「ヒト」「モノ」「情報」の発掘から発信までの循環的仕掛けを目指す。



元気交流中播磨部会 (食と交流グループ)



リーダー
塚本 進介

挨拶

豊かな恵みと歴史がある中播磨には食文化があります。それぞれの分野で、知識や経験が多いメンバーとともに、楽しく研鑽しています。11月29日にはメンバーで、フードイベント「シェフたちのオーケストラ」の舞台発表に出演しました。これまでの活動で制作したYouTubeを広めるチラシ配りもしています。今後も具体的で、主体的な活動を通じて、中播磨の食文化を再発見し、発信できるような事業を実施します。新型コロナウイルスはフードビジネスに打撃を与えています。地域活動が、地域経済のにぎわいづくりにもつながるように取り組みます。

活動趣旨・目的

これまでのグループメンバーが蓄えた知識やノウハウ、情報を整理し、地域内の活動団体とも交流することで、発信力を高める。中播磨の内・外に働きかけることで、地域の魅力を再確認しながら、地域活性化に取り組む。

今後の活動計画

- コロナ禍であり、全員が参加できる体制でのテレビ会議や、発信でのインターネット活用に力を入れる。
- 次年度に特定のテーマで研究、発信を行うべく、いくつかの播磨の酒蔵を巡る。
- 今後の活動のヒントをメンバーで共有する。



みんなでビジョンの実現状況を確認しよう

中播磨地域力指標

—フォローアップ指標—

ビジョンを実現する地域の力を測る「ものさし」です。
みんなで一緒に点検・評価していきましょう。




地域ビジョンの4つの“夢”に沿った34項目で、ビジョンの進捗状況をチェックします。住民の皆さんに地域課題や生活の実感等を尋ねる「兵庫の豊かさ指標」県民意識調査の結果などを活用。実感（主観）を重視した指標です。

今回の結果では、中播磨地域ビジョンの改訂前である平成22年度値との比較において、上昇項目が下降項目を上回っています。特に、元気交流中播磨の★マーク2項目は県下で1番であり、中播磨の強みを生かした活動が進んでいると言えます。

4つの“夢”	県民意識調査等指標群（主な項目）	R2	H22年度との比較
希望が育つ中播磨 子どもが元気に育つ、 つながりのある地域	住んでいる地域では子育てがしやすいと思う人の割合	49.0%	↑
	住んでいる地域の子どもは伸び伸びと育っていると思う人の割合	68.2%	↑
	住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある人の割合	47.7%	↑
	ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたいという人の割合	30.9%	↑
安全安心中播磨 みんなが安心して 暮らせる地域	災害時や困った時など、いざという時に声をかけ合える近隣の人がいるという人の割合	70.1%	→
	住んでいる地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合	50.3%	↑
	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている地域だと思う人の割合	54.3%	↑
自然豊かな中播磨 自然環境の営みを 大切にす地域	住んでいる地域で災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合	24.4%	↓
	ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合	88.1%	↓
	製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合	51.8%	↓
元気交流中播磨 にぎわいと交流の 元気な地域	住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合	44.5%	↓
	山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたいと思う人の割合	23.6%	↓
	★住んでいる市・町では、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合	50.8%	↑
	★住んでいる市・町には、自慢したい地域の『宝』（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	68.9%	↑
	住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合	23.8%	↑
	商売、事業を新たに始めやすいと思う人の割合	8.8%	↓

中播磨地域ビジョン委員会 Facebookページ

中播磨地域ビジョン委員会では、より多くの皆さんに中播磨地域ビジョンに関する情報や委員会活動、地域の魅力を知ってもらうため、Facebookページ「Hari Maga 中播磨地域ビジョン委員会」を通じて情報を発信しています！たくさんの「いいね！」をお待ちしております。

 中播磨地域ビジョン委員会 フェイスブック



スマートフォンはこちらから▶



情報誌に対するご意見
ご感想などの連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県中播磨県民センター 県民交流室総務防災課（ビジョン担当）
電話 (079) 281-9053 FAX (079) 285-1102
メール: nkharikem@pref.hyogo.lg.jp